

日時：平成28年(2016年)7月15日(火) 15：00～16：40

場所：市役所 特別会議室

欠席委員：1名

傍聴希望者：なし

開会

企画経営部長

挨拶

企画経営部長

諮問

事務局

議題 1 委員長・副委員長の選出

行政評価委員会規則の第 4 条において、「委員会に委員長及び副委員長 1 人を置き、委員の互選により定める。」こととなっている。

事務局としては、委員長には、昨年度に引き続き、京都府立大学の窪田委員に委員長就任をお願いし、副委員長には、兵庫県立大学 自然・環境科学研究所の講師等を務められている藤本委員をお願いしたいと考えている。いかがか。

委員

異議なし

事務局

異議なしということで、委員長は窪田委員、副委員長には藤本委員にそれぞれお願いすることとする。それでは窪田委員長、就任の挨拶をお願いする。

委員長

委員長挨拶

事務局

では、ここからの議事進行は、窪田委員長をお願いする。

委員長

この委員会は原則として公開、傍聴を認めることとし、会議の結果も、ホームページ等で市民の皆さんに周知しているところである。本日の傍聴希望者はあるか。

事務局

本日の傍聴希望はない。

議題 2 審議概要について

委員長

では、議題 2 「審議概要について」に移る。事務局より説明をお願いする。

事務局

< 審議施策、審議日程、その他資料等の説明 >

委員長

事務局からの説明について、質問はあるか。

委員

市の平成 28 年度予算の規模は過去最大となっている。しかし、税収は伸びない。行政評価委員会の評価がこれからの取組への後押しになる中で、何が問題点かを事前に示していただく必要がある。

委員長

今後、委員会からのリクエストに応じて資料の追加をお願いする。私もしくは事務局にお伝えいただき、必要な情報を提供してもらい、評価を進めていく。

議題 3 前年度評価について

委員長

では、議題 3 「前年度評価について」に移る。事務局より説明をお願いします。

事務局

<前年度評価等の説明>

委員長

では、ここから、前年度評価における指摘事項に対する担当部署の対応状況について、配布資料「平成 27 年度宝塚市行政評価委員会指摘事項及び対応状況」、「平成 27 年度宝塚市行政評価委員会指摘事項及び対応状況に対するご意見と担当部署の回答」を基に審議を行う。

<p>【基本目標】「安全・都市基盤」</p> <p>【施策】「防犯・交通安全」、「土地利用」、「市街地整備・北部整備」、「住宅・住環境」</p>	
事務局	<p><前年度の行政評価委員会指摘事項及び対応状況に対するご意見と担当部署の回答の説明></p>
委員	<p>住宅・住環境 2 良質な住宅ストックを活用したまちづくりを推進します</p> <p>市営住宅において、入居者で自主的に組織されている組合等は有償で管理を行っているのか。共用部分に私物が置かれており、環境衛生、防犯等の面から問題がある場合、また、共益費を収めていない入居者がいる場合どうするのか。ごみ出しについて、設置されているごみ置場以外に蓄積場ができていないケースがあり、また、ごみの当番制に協力しない人がいる。これはモラルの問題でもあるが、地域の環境の問題でもある。これらについて、市としてはどう対応するのかお聞きしたい。</p>
委員	<p>防犯・交通安全 1 地域の安全は地域が守るため、市民と行政が連携し防犯・交通安全活動を推進します</p> <p>交通安全対策事業について超過勤務を抑制し、人件費の削減に努めるとあるが、実施体制に関して問題があるとすれば、その具体的な改善策を記載してはどうか。</p>
委員	<p>市街地・北部整備 2 北部地域の活性化に向けた基盤整備を進めるとともに、地域資源の活用や他の地域との交流・連携により地域全体の魅力を高めます</p> <p>宝塚自然の家の活用に関する検討の必要性に対して、リニューアルを図るとあるが、その方針を記載していただきたい。</p>
事務局	<p>9月末を目途に基本構想を策定する。今ある施設をどうするかも含めて検討をしている。</p>
委員	<p>環境省が生物多様性保全上重要な里地里山として全国で 500 カ所を選定した。そのうち宝塚市には 2 カ所あり、その 1 つは西谷地区である。北部地域は環境省に選定された財産を有している地域であり、そこにある宝塚自然の家は子どもたちが北部地域を知るための場所である。そのあたりのことも記載すべきではないか。</p>
委員	<p>宝塚自然の家の活用について、県立西谷の森公園と連携することなどが必要ではないか。また、ダリア園や牡丹園など魅力的な資源の情報発信ができておらず、西谷地区全体でのブランディングが必要である。そのためには行政だけでなく、色々な知恵を集める必要がある。</p>
委員	<p>土地利用 2 南部地域においては、地域の特性を生かし、多様な都市機能を備えたよりコンパクトな都市の形成をめざします</p> <p>コンパクトな都市形成のあり方の研究においては、他の自治体の先進的な取組を参考にするとあるが、具体的なモデルを記載すればわかりやすい。</p>

委員長	<p>住宅・住環境 2 良質な住宅ストックを活用したまちづくりを推進します 空き家の利活用に関しては大きな課題となっている。前年度の指摘でも空き家にしないための対策、空き家を適正に管理する取組を進めるよう指摘した。この指摘を契機に、取組を強化していただきたい。</p>
事務局	<p>ここで審議対象とした4つの施策に対するご指摘の内容は、庁内にて共有、確認を行った上で、委員会に報告する。</p>

	<p>【基本目標】安全・都市基盤</p> <p>【施策】「道路・交通」、「河川・水辺空間」、「上下水道」</p> <p>【基本目標】環境</p> <p>【施策】「都市景観」</p>
委員	<p>道路・交通 3 道路や駅前などにおける安全で快適な環境づくりに努めます</p> <p>前年度、道路バリアフリー化整備事業では、高齢者等と同じ目線に立った取組が必要と指摘した。エイジフレンドリーシティの取組において、高齢者にやさしいまちづくりを進めるとのことだが、道路をバリアフリー化することが高齢者にとってよいという視点だけでなく、高齢者が歩きたくなるような道づくりをするという視点も大切であると考えている。</p>
委員	<p>道路・交通 2 人と環境にやさしい公共交通網の充実を図ります</p> <p>南口、市役所前、山本に、特に朝夕に渋滞が起こる道路がある。車の流れをどうしていくか、渋滞緩和対策を検討していただきたい。</p>
委員	<p>上下水道 1 おいしい水の安定供給を図るため、良好な水源確保や施設の耐震化などを進めます</p> <p>生瀬と小林の浄水場の委託に関する協議が進展していないと記載されているが、その理由について、少し記載していただいた方がよい。</p>
委員	<p>上下水道 2 下水道（汚水）施設の機能を高めるとともに、下水道普及率の向上などを推進します</p> <p>下水道事業が毎年赤字になり、料金の値上げも含めた事業の検討が必要との指摘に対して、下水道事業会計の経営健全化に取り組むとしているが、どのように取り組むのか、具体的に記載すべき。</p>
事務局	<p>ここで審議対象とした4つの施策に対するご指摘の内容は、庁内にて共有、確認を行った上で、委員会に報告する。</p>

【基本目標】環境	
【施策】「緑化・公園」、「環境保全」、「循環型社会」、「都市美化・環境衛生」	
事務局	<前年度の行政評価委員会指摘事項及び対応状況に対するご意見と担当部署の回答の説明>
委員	前年度の行政評価委員会指摘事項に対する対応状況については、全般的に、検討を進めますといった具体性を欠く表現となっているが、一定の目途を示すことで、説得力を持たせる内容となるよう考えていただきたい。
委員	<p>緑化・公園 1 地域の特性に合った公園整備を進めるとともに、協働による適切な管理に努めます</p> <p>例えば、公園の遊具の老朽化に対して修繕を行ったが、あまり利用がないケースがある。公園のあり方を見直すのであれば、全て示すのは難しくても、順次、検討状況にあわせて地域ごとに示してもらいたい。</p>
委員	<p>都市美化・環境衛生 3 墓地の長期的かつ安定的な供給などに努めます</p> <p>すみれ墓苑に関して、未利用地や未整備地について早急に方策に取り組むべきとの意見に対して、今後の方針について、庁内関係各課と協議し、検討を進めていくとしているが、方向性、具体性がない。現在検討中であり、示すのは難しいと思うが。</p>
委員長	<p>緑化・公園 2 市街地での緑化（花）を推進し、都市ブランドを高めていきます</p> <p>前年度、野生種のスミレが市花であるが、スミレ全般とすることで活用の幅を広げて、ブランド化にも繋げていけるのではと指摘したが、対応状況ではその答えが書かれていない。</p>
委員	市として花と緑のイメージをより押し出していくことも考えてみてはどうかと昨年度指摘したが、現在の取組として緑化団体の方々による地域緑化の取組や団体への支援等を記載されている。指摘に対して答えていないのではないか。
委員	<p>緑化・公園 3 緑地や里山の保全・再生、管理に努めます</p> <p>緑化基金活用費事業の人件費がかかりすぎているのではとの指摘に対し、市街地全般の緑化推進を行っているとのある。それであれば、人件費がより大きくなるのではないか。</p>
委員	<p>環境保全 2 豊かな自然環境の保全など、生物多様性を意識したまちづくりを推進します</p> <p>環境学習、生物多様性の啓発施設として、宝塚自然の家を活用していく必要があるとの指摘に対して、リニューアルに関し、活動拠点のあり方、活用手法等について検討するとあるが、「市街地・北部整備」における対応状況では、教育委員会が、ソフト・ハードの両面からリニューアルを図るとしている。宝塚自然の家に</p>

事務局	<p>ついて市全体としての考えを持つ必要がある。</p> <p>休所中の宝塚自然の家は教育委員会の所管であるが、横断的に取り組んでいる。</p> <p>ここで審議対象とした4つの施策に対するご指摘の内容は、庁内にて共有、確認を行った上で、委員会に報告する。</p>
-----	--

委員長

では、事務局より次回について案内をお願いします。

事務局

<次回の日程、審議内容について説明>

委員長

これで本日の審議を終了する。